

# 「教師用指導書」のご案内

## 研究編 ①



# 24

[弱さと向き合って]

## 足袋の季節

指導内容 D (22) よりよく生きる喜び

関連する指導内容 A (3) 向上心、個性の伸長

準備するもの ホワイトボード紙、ホワイトボード用ペン、磁石。

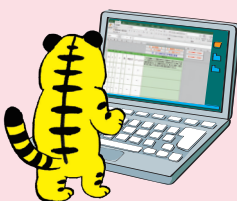
授業で使用するのがひと目で分かります。

教科書 p.140～142

「主体的・対話的で深い学び」のための方法や、押さえておくべきポイントを、具体的に分かりやすく解説しています。

生徒の学習状況を見取る際のポイントや、その場面と方法、生徒の成長や変容を見取る視点の具体例について解説しています。「生徒を認め励ます評価の例」は、指導要録や通知表作成の際の参考にもなります。

### 評価文作成をさらにサポート



評価文作成に役立つ、「道徳評価文例作成資料」を「教師用指導書 研究編 DVD-ROM」に収録予定。「道徳評価文例作成資料」は、生徒の自己評価と、日々の授業で見取った内容を入力することで自動的に評価文例が作成されるシステムです。



Web ページから、「道徳評価文例作成資料」のサンプル版データをダウンロードできます。

**ねらい**  
おばあさんの優しさを裏切った許せない自分を受け止めながら前向きに生きる作者の姿に共感し、自らの弱さや醜さを克服する強さをもち、人間として気高く生きようとする態度を養う。

**主題設定の理由**  
(1) ねらいや指導内容について  
人は、ときとして人間のもつ弱さや醜さから誘惑に負け、過ちを犯したり失敗したりすることがある。「こうありたい」と思いながらも低きに流され、でも、「これではいけない」と弱さを克服していこうとする強さも併せもっている。ありのままの自分を謙虚に見つめ、弱さを乗り越え人間としてよりよく生きようとする誇りある姿に焦点を当て、生きることへの喜びを感じ取れるようにしたい。

(2) 生徒の実態について  
中学生の時期は誘惑に負けたり、やすきに流れたりする傾向が見られる。その中で自信を失ったり、劣等感にさいなまれたりする。しかしその一方で、理想とする生き方に関心が高まってくるときでもある。失敗を素直に受け止め、そのことにこだわりすぎず、むしろそれを糧とすることで、弱さを克服し、生きることの喜びを見いだすようにしたい。

(3) 教材について  
足袋が欲しいあまりに餅売りの老婆から釣り銭をごまかしてしまう作者は、後悔と自責の念に苦しむ。老婆の死を知り、自らの人格を回復することができなくなる。その後、老婆からもらった心

作者が自分の犯した過ちを謙虚に受け止め、前向きに生きていこうとする生き方は、生徒に深い感動を与える。また、生徒もこれに似た経験を大なり小なり持ち合わせていると思われるので、すぐに作者の気持ちに入り込むことができるだろう。

**「主体的・対話的で深い学び」のために**  
中心発問③において、グループでの話し合いを行う際、教科書巻末のホワイトボード用紙を使う。各人の考えを記述し、みんなに見える状態にすることで、考え方の違いや深さについて確認したり見返したりすることができ、より深く考え進めることが可能になる。時間配分に配慮しながら、このような方法を使いたい。

**評価の視点**  
自らの弱さや醜さを受け止めながら、前向きに生きていこうとする作者の姿に自分の行動を重ね合わせ、気高く生きることについて考えを深めている。

**評価の方法と場面**  
・中心発問③におけるグループでの話し合い（中間指導、ホワイトボード用紙の記述）。  
・弱さを克服し強く生きていこうとする志向性（ノートでの記述）。

**生徒を認め励ます評価（学習状況の把握）の例**  
〇〇さんは、自らの弱さや醜さを克服して生きていこうとする作者の姿に、自分の経験を重ねて考えていた。

**漫画解説と概要**  
「こえ聲の形」(7巻90ページ) 大今良時、講談社。  
小学生のとき、聴覚に障害のある少女・西宮硝

今度は自分がいじめられるようになる。その体験から、高校生になった将也は、硝子にわびるために会いに行く。教科書に示した場面は、小学校のときのクラスメートが、「(自分は) まるで変わってない」と言ったことに対する将也のセリフ。

作品は、「人と人が互いに 気持ちを伝えることの難しさ」の答えを作者自身が見つけだせなかったため、「読者に意見を聞いてみたい」という気持ちで描いたという。

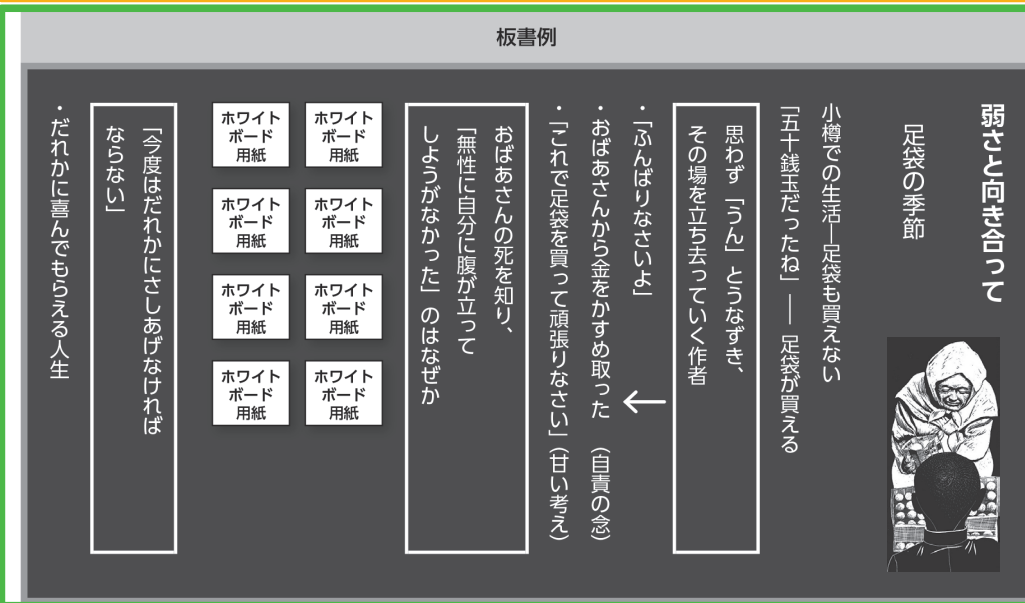
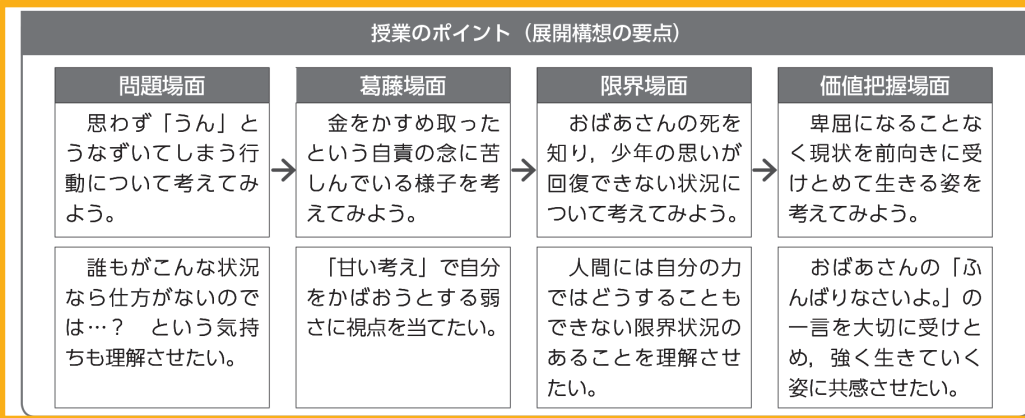
『週刊少年マガジン』にて2013～2014年まで連載された。単行本は全7巻。

全日本ろうあ連盟監修で道徳教材化された30分の実写DVDと全国公開されたアニメ映画がある。

◎ 他教科との関連  
社会科 【公民的分野】 私たちと経済  
【歴史的分野】 近代の日本と世界  
数学 関数

出典：[PHP No.177] PHP 研究所（文部省「道徳の指導資料第1集」）  
作者：中江良夫（1910～1986）劇作家。北海道室蘭市生まれ。

カリキュラム・マネジメントに役立つ、他教科との関連を示しています。



授業に役立つポイントを紹介。授業展開に必要な情報や、さらに授業を深めたいときのヒントを得ることができます。ちょっとした時間にサッと読めます。ここで示した「展開構想の要点」のほかにも、教材によって「学習活動の効果的な取り入れ方」など、その教材に合ったさまざまな内容を提示しています。

構造的な板書例で、「主体的・対話的で深い学び」をサポートします。



# 「教師用指導書」のご案内

## 研究編 ②



| 展開例 (本案)   |  |   |
|--|--|---|
| 学習の流れ  | 予想される生徒の反応   | 指導上の留意点   |
| <b>導入</b><br>① 漫画と同じような経験を振り返る。<br>① 漫画を読んで、自分にも「変わらないこともある」と思うようなことがあるか。  | ○ けんかしたときなど、自分が悪いとわかっていても、すぐに謝ることができない。  | ■ ペアでの話し合い程度にとどめる。漫画の場面との同質性を意識し、自分を変えることの難しさを感じさせたい。                             |
| <b>展開</b><br>② 「足袋の季節」を読んで話し合う。<br>□ 「足袋の季節」を範読する。<br>① 小樽の郵便局で働いていたとき、作者はどのような生活をしていたか。<br><br>② 思わず「うん。」とうなずき、その場を立ち去っていく作者は、どのようなことを思っただろう。<br>・ 釣りを返そうと思いつつも、返さないで悩んでいる作者の気持ちを考えてみよう。【補助発問】<br><br>③ おばあさんの死を知り、「無性に自分に腹が立ってしようがなかった。」のはなぜだろう。Ⓜ Work<br>□ ワークシートに自分の考えを書こう。<br>□ グループの人の考えを、ホワイトボード用紙にまとめよう。<br>□ グループごとに、発表しよう。<br>・ おばあさんにどう謝りたかったのだろう。<br>・ それを言えなかったからあれほど悔しかったのだろうか。【補助発問】<br><br>④ 「あのおばあさんが私にくれた心を、今度はだれかにさしあげなければならない」と考え、作者はこの後どのような人生を歩んでいったのだろうか。 | ○ 給料の大部分が食費で、ほかに風呂代等もかかる。<br>○ 雪の中を素足で通勤しなければならぬ。<br><br>○ このお金があれば足袋が買える。<br>○ おばあさんが「ふんばりなさいよ。」と励ましてくれた。<br>○ お金をかすめとってしまった自分が恥ずかしい。<br><br>○ もう、おばあさんに謝って許してもらおうとも、感謝の気持ちを伝えることもできないと思ったから。<br>○ 試験合格後の給料で果物を買って謝ろうとしたがそれがかなわず、結局自分が許せない自分のままでいなければならないから。<br>○ 許せない自分にこだわりすぎれば、かえって自分を落ち込ませてしまう。 | ■ 必要に応じて補助発問を活用する。<br><br>■ 「司会カード」(教科書 p.3) に沿って進めさせる。<br>■ 自分と違う考えもしっかり聞くように促す。 |
| ⑤ ③おばあさんの死を知り、「無性に自分に腹が立ってしようがなかった。」のはなぜだろう。Ⓜ Work<br>□ ワークシートに自分の考えを書こう。<br>□ グループの人の考えを、ホワイトボード用紙にまとめよう。<br>□ グループごとに、発表しよう。<br>・ おばあさんにどう謝りたかったのだろう。<br>・ それを言えなかったからあれほど悔しかったのだろうか。【補助発問】  | ○ 「ふんばりなさいよ。」に込められた温かい心を周囲のだれかにさしあげて、喜んでもらえる人生を歩んでいった。   | ■ 「ふんばりなさいよ。」に込められた心を他の人々にも振り向けたいという作者の利他的な姿勢に気づかせる。<br><br>■ 決意表明にならないようにする。     |
| <b>終末</b><br>④ 本時のまとめをする。<br>□ この教材を通して、学んだこと、考えたことをノートに書こう。<br>□ 今日の学習を振り返り、ノートに書こう。  | ○ 自分の過ちにこだわって落ち込むのも、逆に、自分をかばいすぎるのもよくない。とにかく前を向いていく姿勢が必要だと思う。   |   |

| 展開例 (別案)  |   |
|---|---|
| ホワイトボード用紙を活用し、主に発問一つで指導する案  |   |
| [反省と向上]   |   |
| <b>導入</b><br>① 教材とテーマ(「弱さと向き合う」)の提示。<br>教師自身が誘惑に負けて自分の利益を優先させた例を紹介する。   | D (22) よりよく生きる喜び  |
| <b>展開</b><br>② 教材の概略説明。<br>③ ワークシート配付と発問提示。<br>作者を泣けて泣けてどうしようもなかったものは何か?  | ① 教材範読。<br>② 個人で考えさせる。<br>③ 班で考えさせる(ホワイトボード用紙の使い方は生徒の実態に合うように工夫する)。<br>④ 発表させる。<br>⑤ 教師と生徒との対話。<br>考えを深める投げかけ例「泣けて泣けてどうしようもなかった作者をどう思うか。」<br>「作者は弱い人間なのだろうか。」<br>「作者の素晴らしいところはどこか。」 |
| ※ 対話のポイント<br>生徒からは、「後悔の念」や「自責の念」あるいは「自分の弱さ」などの考えが出る予想されるが、その弱さと向き合おうとしている作者の強さに、人間としての気高さに気づかせるように問い、投げかけながら対話をするように心がける。 |   |
| <b>終末</b><br>① 説話。<br>※ ポイント<br>人間は弱い。しかし、その弱さと正面から向き合おうとすることができるのも、人間である。そこに人間の気高さがある。                                   | ② 感想を記入させる(振り返り)。<br>(例)「おばあさんへ」というタイトルで、「弱さと向き合う」というタイトルで、   |

本案と別案の2本を掲載。別案は3パターンあり、「内容項目が同じで本案と展開が異なる展開例」、「異なる内容項目をねらいとする展開例」、「主に発問一つで指導する展開例」のいずれかが付きます。

教材によっては、教材内容に関連した資料が付いています。作者や主人公に関する情報や、終末の説話で使える内容など、授業にそのまま役立つ情報が満載です。

### 資料 「足袋の季節」の世界

**作品解説**  
 本教材は、冒頭の二文が省略されているが、その中で作者は、「年をとったせいか、近ごろは物にあとをふり返ることが多くなった。悲しみやつらさなどの思い出は、なつかしさを加えて、今では一つの美しささえ感じているが、あの時あしたらよかったという悔恨は、限りなく浮かび上がって、それがあきらめの年齢に、なおさら拍車をかける結果となっている」と、謙虚に自らの生き方を見つめている。

**舞台・場面解説**  
 ◆「今から四十年前、小学校を出るとすぐ」  
 作者の半生は1910(明治43年)年5月3日、北海道に生まれた。小学校の卒業時期から、作中の40年前は1923年(大正12年)を指していると考えられる。当時の学制は下記参照。  
 ◆「父は日雇いの労働者」  
 臨時の公共事業などを担う季節労働者。1923年の日雇い労働者の平均賃金(東京都)は日給2円28銭であった。

**当時の物価** (1円=100銭、1銭=10厘)

|          |                  |
|----------|------------------|
| 入浴料      | 5銭 (1926年)       |
| 理髪料      | 30銭 (1920年)      |
| あんぱん     | 2銭5厘 (1923年)     |
| 牛乳180cc  | 8銭~10銭 (1921年)   |
| 黒豆のコーヒ一杯 | 10銭 (1921~1923年) |
| 食パン1斤    | 16銭 (1926年)      |
| 白米10kg   | 3円4銭 (1922年)     |
| 鉛筆1本     | 5銭 (1926年)       |
| 自転車      | 45~60円 (1919年)   |
| 野球ボール    | 1円50銭 (1926年)    |
| 読経入場料    | 30銭 (1926年)      |

※「歴史的な表 明治大正昭和 通判別冊」朝日新聞社 等を参考に作成。  
 ◆「雪の中を素足でびんびんはねるようになって馬へ乗ったもので、夜勤を終えて帰るとき足の冷たさには……」  
 文章には「素足」とあるが、草履や下駄などを素足で履いていたのであろうと思われる。  
 ◆「通信講習所」  
 中等・高等教育機関に準じる教育を行った官立養成機関。1921年5月、全国7つの通信所に通信講習所が設置され、1948年(昭和23年)に廃止された。授業料等が無料かつ毎月修学手当が支給されるほか、卒業後は官公庁に職員として採用されることもあり、1925年には入学倍率が6倍を超えた。前身となる修技学校の卒業生に準同資格がある。

**1919年の学制** (併制は満年齢、丸線で囲まれた部分は義務教育)

### 定袋の季節 舞台探訪

当時の小樽郵便局「東京行啓念 小樽区寄附」小樽区役所1911年 市立小樽図書館蔵

### 教師対話の手引き

教師対話では、後悔や辛いことを受け止め、よりよく生きていこうとする人間の力強さを生徒たちに伝えたい。以下に示すのは、ある女性教員の記事である。

★  
 2017年12月以降、無料通信アプリ「LINE」に返信取り消し機能が搭載される。メッセージの宛先や表現を誤っても、ケアができるようになるが、気軽に取り消せるという点には、ちょっとした後ろめたさを感じている。  
 私が将棋を始めたのは小学3年のときだった。引き込まれた一番の理由は「待った」のルールだった。負けず嫌いで、失敗を受け入れられなかった当時は、ゲームでリセット機能に頼って、不本意な失敗をなかったことにするよう女子どもだった。  
 だが将棋は違った。実力者の友人に突かれても、手を戻すことは許されない。「負けました」とまで言われたときは、垂れ出しかねない勢いだ。再戦を挑んでも相手と負けを繰り返し、たくさんの駒を取られ、初めは苦痛だった。  
 失敗から逃げずに向き合い、その都度、反省もして得られたものは大きく感じられた。決して優秀ではない自分は、多くの失敗、努力を経て教訓や財産に繋がれたと今も思える。  
 そんな女子どものころの、甘えたい、逃げたい気持ちを自覚しているだけに、今回の機能にも抵抗があるのかもしれない。メッセージを簡単に削除できたとしても、失敗した事実は消えない。せめて同じ間違いだけはしないよう、対局の着手の前にもう一度読みを入れ直すのと同時に、「返信」を押す前に手を止めてみたい。

出典:「朝日新聞 平成29年11月28日朝刊」朝日新聞社「失敗した事実は消えない 香川麗生の軌跡」より 香川麗生

香川麗生(かがわなほ)  
 女優。1993年(平成5年)4月16日生まれ。2008年、経歴15歳でプロデビュー。2013年に女優デビュー。同年も主演を務め、第35回、第36回文化庁長官賞。俳優界のため、テレビイベントなどにも積極的に出演。

各指導過程における時間の目安を示しています。



# 「教師用指導書」のご案内

# 指導編（朱書）



**主題名** 弱さと向き合って  
**研究編** P.178～183参照

**本時の指導内容** D (22) よりよく生きる喜び  
 A (3) 向上心、個性の伸長

**ねらい** おばあさんの優しさを裏切った許せない自分を受け止めながら前向きに生きる作者の姿に共感し、自らの弱さや醜さを克服する強さをもち、人間として気高く生きようとする態度を養う。

● **内容項目関連教材** D (22)  
 一年：18 銀色のシャープペンシル  
 26 花に寄せて  
 二年：22 自分を信じて生きるとは・本当の私  
 ⑤ 良心のたたかい  
 三年：5 背番号15が歩んだ道―黒田博樹  
 ● **他教科との関連**  
 社会科「公民的分野」私たちと経済  
 社会科「歴史的分野」近代の日本と世界  
 数学 関数

### ● 板書例

**弱さと向き合って**

足袋の季節

小梅での生活―足袋を買えない  
 「五十銭玉だったね」―足袋が買える

「思わず」「さ」と「なやまき」  
 その場を立ち去っていく作者

「ふんばりなさいよ」  
 ・おばあさんから金をかすめ取った (自責の念)  
 ・「これで足袋を買って頭張りなさい」 (母いきさ)  
 おばあさんの死を知り、  
 「無性に自分に腹が立って  
 しようがなかったのはなぜか」

「今度はだれかにさしあげなければならぬ」

「だれかに喜んでもらえる人生」

ホワイトボード用紙

**24 弱さと向き合って**  
 変われないことはあるかな。

文\* 中江良夫 絵\* 小谷智昭

「変われないことはあるかな。」  
 「思わず」「さ」と「なやまき」  
 「これで足袋を買って頭張りなさい」  
 「ふんばりなさいよ」  
 「無性に自分に腹が立って  
 しようがなかったのはなぜか」  
 「今度はだれかにさしあげなければならぬ」  
 「だれかに喜んでもらえる人生」

### 足袋の季節

足袋をはく冬が来ると、必ず私の心の中にいきいきと映りだされてくるおばあさんがある。今から四十年前、小学校を出るとすぐ、小樽のおばをたよって父母のもとをはなれたのだが、当時、私の父は日やとの労働者で、その仕事もたまにしかなく、家は非常に貧しかった。初めて会ったおばだが、「何で来た。」といった冷たい顔をしながらも、それでも私を小樽郵便局に話をしてくれた。

月給が十四円で、食費としておばが十三円五十銭を取り、残り五十銭の中で頭をかり、ふる銭にあてなければならぬので、それこそ、冬が来てもゴム長どころか足袋を買う余裕もなかった。雪の中を素足でびよびよんはねるようになって局へ通つたもので、夜勤を終えて帰るとき足の冷たさには、何度泣かされたか分からない。何とかして足袋を買いたい……、いつも、そのことについて話をしてくれた。



**▼発問①**  
 月給が十四円で、食費としておばが十三円五十銭を取り、残り五十銭の中で頭をかり、ふる銭にあてなければならぬので、それこそ、冬が来てもゴム長どころか足袋を買う余裕もなかった。雪の中を素足でびよびよんはねるようになって局へ通つたもので、夜勤を終えて帰るとき足の冷たさには、何度泣かされたか分からない。何とかして足袋を買いたい……、いつも、そのことについて話をしてくれた。

**▼発問②**  
 あさんは、大福もちを五つふくろに入られて、私にわたしながら、「五十銭玉だったね。」と聞いた。自分がわたしたのは十銭玉だったが、そのとき、四十銭あったら足袋が買える、という考えがいなすまのように頭にひらめいて、思わず、「うん。」とうなずいてしまった。おばあさんは、ちらつと私を見た。そして、「ふんばりなさいよ。」と、ぼそつと一言言つて、私の手に十銭玉を四つにぎらせてくれた。

**▼発問③**  
 私はにげるようにしてその場を去つたのだが、あのおばあさんは、私がかしたのを知っているのだと思うと、いても立ってもいられた。その金を返そうと心の中では思うのだが、「四十銭あったら、足袋が買える。」という心に負けて、とうとうそれが果たせなかった。それから、おばあさんの前に立つことはできず、もちを買いにやらせられるときは、必ず同僚にたのんで、行つてもらった。

**▼発問④**  
 ああ貧しいおばあさんから金をかすめ取つたという自責の念と、「ふんばりなさいよ。」と言つてくれたのは、私に「これで足袋を買って頭張りなさいよ。」とはげましてくれたのだというあまい考えとが、日夜、小さな私の胸を苦しめた。

**▼発問⑤**  
 思わず「うん。」とうなずき、その場を立ち去っていく作者は、どのようなことを思っただろう。

**▼発問⑥**  
 「反応例」  
 ○このお金があれば足袋が買える。  
 ○おばあさんが「ふんばりなさいよ。」と励ましてくれた。

**▼発問⑦**  
 ○必要に応じて補助発問を活用する。

**▼発問⑧**  
 釣り銭を返そうと思いつきながらも、返せないで悩んで

る作者の気持ちを考えてみよう。

- ・生徒が自由に記述。強制しないように。
- ・生徒の話し合いやポートフォリオ評価の際、活用することができる。

**▼導入**  
 漫画と同じような経験を振り返る。

**▼発問①**  
 小樽の郵便局で働いていたとき、作者はどのような生活をしていたか。

**▼反応例**  
 ○給料の大部分が食費で、ほかに風呂代等もかかる。  
 ○雪の中を素足で通勤しなければならぬ。  
 ○冬の北海道の寒さがしつかり伝わるのが肝要。  
 ○就職難の時代に、おばは働き口を世話してくれた。とはいえ、真冬に足袋を買うお金もない赤貧の生活状況を想像させる。

**● 漫画解説**  
 講談社『週刊少年マガジン』にて連載されていた。

**出典**：『PHP No.177』PHP研究所(文部省)『道徳の指導資料第1集』  
 作者：中江良夫(1910～1986)  
 劇作家。北海道室蘭市生まれ。  
 「どぶろくの辰」「しん場」などの著書がある。

発問は補助発問も含めて示しています。生徒の反応例や、留意したい点も掲載しています。

教科書の縮刷紙面の周りに、授業に必要な情報を示しています。



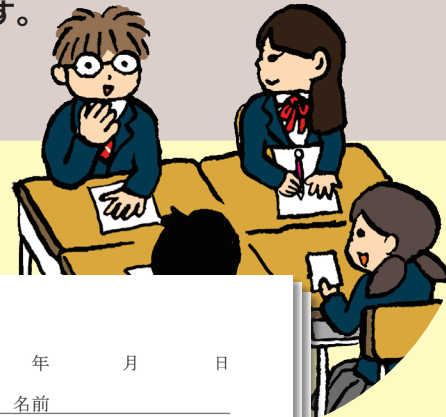
# 「教師用指導書」のご案内

# ワークシート・その他



## 教師用指導書 ワークシート編

そのままコピーして使えるワークシートの冊子を用意しています。編集可能なデータを研究編 DVD-ROM に収録していますので、学級の実態に合わせて内容を変更することができます。



### 24 足袋の季節 (教科書 p.140~142)

学習日 年 月 日  
組 番 名前

問い：おばさんの死を知り、「無性に自分に腹が立ってしよがなかつた。」のはなぜだろう。(自分の考えや友達の影響など)

-----  
-----  
-----  
-----  
-----



問い：

-----  
-----  
-----  
-----

つぶやき

-----

ふり返ってみよう

|                           |         |
|---------------------------|---------|
| 1 教材について、興味をもって読めたか？      | A B C D |
| 2 自分の考えを伝えることができたか？       | A B C D |
| 3 友達の考えを聞くことができたか？        | A B C D |
| 4 授業の内容について、深く考えることができたか？ | A B C D |

A：意欲的にできた B：できた C：あまりできなかった D：できなかった

D(22)



## 指導者用デジタルブック

電子黒板を使用して、教科書紙面や、関連するコンテンツ（朗読音声、動画等）を提示することができます。

教科書紙面を表示させながら、朗読音声を聞くことができます。読み上げ部分はマーカーで強調されます。

てじつと聞いていることもあります。きつと昔のことるんだなあと思います。家族のこと、友人のこと、た...  
私は、一度仏壇の前で歌ったことがあります。それが私の唄を聞きたいと何度も言っていたのですが、聞ままなくなってしまうからです。親戚の人たちが歌げてと言うので、「行きゆんや加那節」を歌いまし

教科書紙面を表示させながら、朗読音声を聞くことができます。読み上げ部分はマーカーで強調されます。

行きゆんや加那節 彼遠島から  
行きゆんや加那節 彼遠島から  
汝きや事思めばや 行き苦しや

資料映像を多数用意しています。(奄美大島の美しい風景をバックに、プロのかたによる島唄が流れます。)



アイコンをクリックするだけの簡単操作で使えます！

## 教師用指導書セットの内容

- 教師用指導書 研究編 (各学年 1冊)
- 教師用指導書 指導編【朱書】 (各学年 1冊) ※分売あり。
- 教師用指導書 ワークシート編 (各学年 1冊)
- 教師用指導書 研究編 DVD-ROM (全体計画例、全体計画別葉作成資料、ワークシート、展開例、道徳通信、総ルビ・分かち書きの教科書紙面 PDF、道徳評価文例作成資料)
- 教師用指導書 場面絵 DVD-ROM
- 朗読 CD
- 指導者用デジタルブック

※これらの商品は企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。

充実のセット内容です！

